



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 ダイヤモンド電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 栗田 裕功
 (コード番号 6895 東証第二部)
 問合せ先 取締役 管理管掌 安藤 武始
 (TEL 06-4799-6890)

特別損失の計上、通期業績予想値と実績値との差異
 及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期決算において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、平成 27 年 11 月 10 日に公表した平成 28 年 3 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成 28 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当予想について、下記のとおり修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 減損損失 317 百万円 (連結)、309 百万円 (個別)

当社の電子機器事業及び自動車機器事業の一部、並びに当社の連結子会社であるダイヤモンドビジネス株式会社が保有する固定資産において、収益性の低下により減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、連結業績において 317 百万円、個別業績において 309 百万円を減損損失として計上することといたしました。

(2) 関係会社事業損失引当金繰入額 367 百万円 (個別)

当社の連結子会社であるダイヤモンドビジネス株式会社の債務超過額相当額を、関係会社事業損失引当金として計上することといたしました。このため、個別業績におきまして特別損失が 367 百万円発生いたします。なお、当該損失につきましては、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

2. 平成 28 年 3 月期通期業績予想値と実績値との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 62,000	百万円 2,000	百万円 1,900	百万円 △1,000	円 銭 △122.82
実績値 (B)	59,208	2,357	2,219	△1,381	△159.32
増減額 (B-A)	△2,792	357	319	△381	—
増減率 (%)	△4.5	17.9	16.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	57,237	1,686	1,819	558	50.13

差異の理由

売上高は、概ね前回発表予想の水準となりました。営業利益及び経常利益は、米国の好調に支えられ、前回発表予想を上回ることとなりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、前述の減損損失の計上に伴い、前回発表予想を大きく下回ることとなりました。

3. 配当予想の修正

普通株式の配当予想の修正

	年 間 配 当 金		
	第 2 四 半 期 末	期 末	合 計
前回予想 (平成27年11月10日発表)	円 銭	円 銭 10.00	円 銭 15.00
今回修正予想		0.00	5.00
当期実績	5.00		
前期実績 (平成27年3月期)	3.00	5.00	8.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への還元については、長期的視点に立って企業体質の一層の強化及び将来の成長分野への投資のために必要な内部留保を確保し、安定配当の維持と向上を図ることを基本方針としております。

平成28年3月期の普通株式の期末配当金につきましては、前述の減損損失を計上したことを踏まえ、当社の財務状況等を総合的に勘案して検討いたしました結果、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。なお、A種優先株式につきましては、当社定款に定められた条項に従い、1株当たり355,000円の配当を実施させて頂く予定です。

これにより、中間配当金と合わせた年間配当金は、普通株式1株当たり5円、A種優先株式1株当たり710,000円となります。

株主の皆様には何卒ご理解をいただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。
なお、詳細につきましては、本日公表の「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上